

<キャリアパスポート 2020 夏> 1年 組 番 名前 _____ 部活 _____

1学期を振り返り、夏休みを意義あるものにし、2学期に飛躍するため自分の進む道を考え、決意を強めよう。

提出日：8月登校日 担任へ

1学期頑張れたこと・よかったこと ・学習 ・部活 ・検定 ・行事 ・その他	1学期やり残したこと ・学習 ・部活 ・検定 ・行事 ・その他				
得意科目	伸ばしたい科目				
将来の夢					
現在の進路希望：○をつけて具体的に学校・学部・学科名や会社・職種(仕事の内容)名を記入しよう					
自分 (大学 短大 専門 企業就職 公務員 その他) 下宿や入寮：(可 不可 必ず)	保護者 (大学 短大 専門 企業就職 公務員 その他) 下宿や入寮：(可 不可 必ず)				
夏休みの目標 (絶対やり遂げたいことに◎)	取り組み方	5段階評価			
学習面 (3個) ・ ・ ・					
学校生活 (部活動含む)					
英検・GTEC・漢検や進路に向けての取り組み					
夏期休業中の時間の固定をしよう！生活のリズムは大切です！					
	起床時間	就寝時間	家庭学習開始時間	家庭学習終了時間	実学習時間
平日					
休日					
不安や悩みは					



「僕は誰とでも打ち解けて友達になりたいというか、海外でその国や文化や言葉を学ぶのが楽しい」

八村 塁 (プロバスケットボール選手)

○夏休みの振り返りと2学期の目標

夏休みに何か変化はありましたか 生活面：有 ・ 無 友人関係：有 ・ 無 部活動：有 ・ 無 <内容>		
夏休み中に最も印象に残った出来事を記入してください		
2学期の目標		
	12月時点での理想の自分	実現のためにこう努力する
学 習		
学校生活 <small>(部活動・行事など)</small>		
英検・漢検や進路に向けての取り組み		



お役立ち！入試用語集

大学入学共通テスト 入試改革として、2021年度入試よりセンター試験に代わり新しく導入されるテスト。今の高校2年生が最初の受験者となる。センター試験同様に1月中旬の土曜・日曜の2日間で実施される。従来の知識偏重型のテストから、知識を前提にそれを活用する「思考力・判断力・表現力」を評価するテストへの転換がねらい。「思考力・判断力・表現力」をより一層評価する作問に見直されるほか、「国語」「数学」で記述式問題が導入される。英語4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を評価するために、民間の資格・検定試験が活用されることも大きなポイントである。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針） 各大学や各学部・学科がその教育理念や教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針。学生に求める高校での学習成果を示すものでもある。文部科学省が「3つの方針」の策定を求めている。その内の一つが「アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）」である。他の2つは「カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方式）」「ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）」であり、どのような学生を受け入れ、学ばせ、卒業させるのか、出口までの方針を明確にすることで、教育の方向性を示している。

一般選抜（旧一般入試） 入学者選抜のうち、特別選抜（総合型、推薦、社会人、帰国子女等）を除いた入試のこと。募集人員の割合が一番高い入試で、国公立大学では募集人員の7割以上、私立大学でも約5割を占める選抜。国公立大では前期・後期・中期入試が、私大では大学独自に実施する入試のほか共通テスト利用入試もこれにあたる。

総合型選抜（旧AO入試） 「AO」とはアドミッション・オフィスの略。書類審査と面接等を組み合わせることによって、入学志願者の能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を総合的に判定する入試。国公立大学ではセンター試験を課すところもある。名称が総合型選抜となり学びの内容を問われる形となる。

学校推薦型選抜（旧推薦入試） 出身学校長の推薦に基づき実施される選抜。ほぼ全ての大学で実施されている。推薦入試は大学が指定した高校の生徒を対象に行われる「指定校制」と、大学の出願条件をクリアしていれば基本的には誰でも出願できる「公募制」に大きく分けられる。公募制推薦には「自己推薦」「有資格者推薦」「スポーツ推薦」「一芸一能推薦」も含まれる。また、多くの大学では「合格した場合は必ず入学する者に限る」という専願制の入試と「入学を辞退してもよい」という併願可の入試に分かれるので注意が必要である。国公立大学の場合、原則として公募制のみで推薦の基準は非常に厳しい。最近では地域枠推薦が注目を集めている。